

令和5（2023）年度

TMDU

TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY

特別選抜 I（学校推薦型選抜） 学生募集要項

【重要】

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、本募集要項に記載されている内容を変更して実施することがあります。また、各選抜の出願期間や試験日程等についても今後変更することがあります。変更することを決定した場合は、直ちに本学Webページでお知らせします。

<https://www.tmd.ac.jp/admissions/faculty2/system/>



国立大学法人

東京医科歯科大学

TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY



新型コロナウイルス感染症対策に伴う 本学入学者選抜の対応について

本年度、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、多くの各種スポーツ・文化関係の行事、大会、資格・検定試験等が中止・延期または規模縮小となっています。そのため、それらに参加できず、結果を活動報告や調査書等に記載できない場合は、志願者の成果獲得に向けた努力のプロセスやそれらに代わる目標に向けた努力等を記載するようにしてください。

なお、高等学校等における部活動等の諸活動の実績や資格検定試験等の成果を評価する際には、中止・延期等となった大会や資格・検定試験等に参加できず、結果を記載できないことをもって入学志願者が不利益を被ることがないよう配慮します。

また、高等学校等の臨時休業の実施の結果、出席日数や特別活動の記録や指導上参考となる諸事項の記載が少ないことをもって、入学志願者が不利益を被ることがないよう配慮します。

<目 次>

東京医科歯科大学の理念とアドミッション・ポリシー	1
募集要項	
1. 募集人員	7
2. 入学年次	7
3. 入学時期	7
4. 出願資格	7
5. 推薦人員及び推薦要件等	7
6. 入学者選抜方法	9
7. 出願期間及び出願方法	13
8. 障害のある志願者の事前相談（受験上の配慮）	16
9. 試験の日程及び会場	17
10. 受験者心得	17
11. 合格発表	17
12. 入学手続	18
13. 合格者に関する留意事項	19
14. 不合格となった場合の取扱い	20
15. 個人情報の取扱い	20
16. 問い合わせ先	20
入学料及び授業料の免除並びに徴収猶予について	22
東京医科歯科大学生活協同組合の資料請求	23
東京医科歯科大学位置図	24

入学者選抜日程

- 出願期間（「Web 出願サイト」登録期間）
2022年11月1日（火）10時～11月7日（月）15時まで ※13ページ参照
※2022年10月25日（火）10時サイトオープン
- 小論文試験 2022年11月28日（月）
- 面接試験 2022年11月29日（火） ※17ページ参照
- 合格発表 第1段階選抜合格発表 2022年11月14日（月）13時
最終合格発表 2022年12月9日（金）13時
※医学部医学科、歯学部歯学科については、条件付合格として発表し、大学入学共通テストの成績を確認後、2023年2月8日（水）以降に最終結果通知を送付する。
- 入学手続 2022年12月12日（月）～12月16日（金）
※医学部医学科、歯学部歯学科の合格者の入学手続期間については、2023年2月8日（水）～2月15日（水）とする。

東京医科歯科大学の理念とアドミッション・ポリシー

【基本理念】

「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」

学問と教育の聖地、湯島・昌平坂に建つ本学は、医療系総合大学として「知と癒しの匠」を創造し、東京のこの地から世界へと翼を広げ、人々の健康と社会の福祉に貢献します。

・教育について

幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材を育成します。

・研究について

さまざまな学問領域の英知を結集して、時代に先駆ける研究を推し進め、その成果を広く社会に還元します。

・医療について

心と身体を癒す質の高い医療を、地域に提供するとともに、国内さらに世界へと広めていきます。

この理念に基づき、本学の全構成員がそれぞれの役割を自覚し、自らの使命を果たします。

【教育理念】

1. 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養を目指す

病める人と向き合う医療人は、患者の痛みが分かり、そして患者を取り巻く様々な状況をも理解しなければなりません。それには豊かな教養と人間への深い洞察力、高い倫理観と説明能力を備えなければなりません。

2. 自己問題提起、自己問題解決型の創造力豊かな人間を養成する

学業あるいは研究に当たっては、何事も鵜呑みにすることなく、疑問を投げかけ、種々の情報を収集、解析し、自ら解決する能力が求められます。そうしてはじめて、独創的な研究を推進できる人材が育まれます。

3. 国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成する

研究成果が即座に世界に伝播する現代において、医療の分野でもその情報と時間の共有化が益々進んでいます。このような状況の中で、立ち遅れない、むしろ最先端に行く人材の養成に努めます。そのために海外教育研究拠点、海外国際交流協定校への派遣を積極的に推進します。

【アドミッション・ポリシー】

《求める学生像》

東京医科歯科大学は、本学の基本理念に共感し、本学で学ぶという強い意志をもった多様な人材を国内各地のみならず世界各国から受け入れたいと考えています。

本学の使命は、研究者・医療人のリーダーを育て、広く社会・人類に貢献する人材を育成することです。それを実現するためには、幅広い教養と知識や、医療・生命科学への旺盛な好奇心のもと、問題を発見し、解決していく能力が必要となります。

また、本学に入学し培われた経験は、日本国内のみならず、世界に発信していかなければなりません。そのためには、国内外に幅広く目を向け、医療・社会に貢献・還元するという使命感を在学中から意識し、卒業後に実践していく能力が必要です。

このように、本学で学ぶために必要な基礎学力と、それをさらに発展させる力、自ら考え学習する能力と、それを生涯にわたって継続する力と意志、年齢相応の成熟度を備え、社会に貢献するために必要な倫理観およびこれから伸びる力を有している人材を求めます。

《入学試験の基本方針》

本学の入学試験では、学力検査などにより、高等学校において修得すべき知識・技能と、それらを基にした応用力・展開力を評価します。

面接および提出書類により、医療に従事する者としての資質および適性、医療・生命科学領域に対する強い関心を持ち、それらの将来的な課題に対し、自ら考え解決しようとする力およびこれまでの主体性をもった取り組み（高等学校等在籍時の自己の活動、国際感覚に優れる活動など）を評価します。

医学部医学科

【教育理念】

疾患の治療と予防及び健康の保持・増進を研究し、その成果を広く医療・福祉に応用する医学の発展を担う指導者を育成します。

【教育目標】

1. 幅広い教養と豊かな感性を備え、広い視野と高い倫理観をもつ人間性を培う。
2. 自ら問題を提起して解決し、医学のフロンティアを切り開く創造能力を修得する。
3. 世界的規模で働く国際人としての意識を持ち、世界に貢献できる医師・医学研究者を養成する。

【アドミッション・ポリシー】

《求める学生像》

1. 医学・医療に深い関心を持ち、高い基礎学力と倫理観を備えている。
2. 協調性とコミュニケーション能力に優れ、患者の思いを慮ることができるバランスのとれた人格を備えている。
3. 創造性とチャレンジ精神に富み、自然科学領域におけるきわめて優れた特性・学科能力または国内外の課外活動などにおける特筆すべきリーダーシップ能力を備えている。

《入学試験の基本方針》

学力検査以外の評価方針を記載します。

小論文では、問題発見および解決に必要な批判的・創造的・協働的思考力に加えて、課題を整理・要約し、自らの考えを提示する能力などを評価します。

面接および提出書類では、優れた科学的思考能力やコミュニケーション能力、リーダーシップ能力などを高く評価します。

《入学までに心がけて欲しいこと》

高等学校で学習する全ての教科が医学科教育の土台となります。各教科において基礎学力を幅広く身につけておくことが必要です。本学入学前に身につけておく基本要件は、高等学校での履修教科・科目の基本からの理解です。理数系科目においては、常になぜそうなるかを考えながら、より高い学力を獲得するよう心がける必要があります。また医学の基盤となる生物学についての理解を深め、普段から医学・医療に関する知識を得るように努力してください。医学科教育においては、社会的一般常識、読解力、作文能力、コミュニケーション能力も重要です。多様な背景をもつ人たちとやりとりできるようなレベルを目指して社会的視野の涵養に努め、また日本語・英語能力の向上に努めてください。

医学部保健衛生学科

【教育理念】

本学科は、看護学、検査技術学の2つの専門領域における知識・技術を教授することにとどまらず、豊かな教養と高い倫理観に裏づけされた医療人としての感性を有し、学際的視野にたち、自ら問題を提起し、これを解決できる能力を備えた医療人を養成します。

【教育目標】

〈看護学専攻〉

高度先進化する科学技術の基礎理解力を持ち、高齢化社会における保健医療・福祉等のさまざまな職種と連携して、専門職としての役割を果たす人間性豊かな人材を育成する。

〈検査技術学専攻〉

先端医療技術の進展に対応しうる学際的視野と研究能力を有する資質の高い人材および医学、保健医療における検査技術の発展とその教育・指導に従事する人材を育成する。

【アドミッション・ポリシー】

《求める学生像》

1. 保健医療および看護学または検査技術学に深い関心をもち、他者への思いやり、責任感、倫理観を備えている。
2. 観察力、科学的思考力、問題解決力、総合判断力を備えている。
3. 人間性が豊かで、継続的に自己啓発し、探究心が旺盛である。
4. コミュニケーション能力が優れ、リーダーシップを発揮して課題に取り組むことが期待できる。

《入学試験の基本方針》

学力検査以外の評価方針を記載します。

小論文では、問題発見および解決に必要な批判的・創造的・協働的思考力に加えて、文章を読んで内容を理解する力、それについての自分の意見を記述する力、物事を科学的に分析する思考力などを評価します。

面接および提出書類では、与えられたテーマについて自分なりの考えをまとめ、分かりやすく人に説明する力、人の意見を聞いて議論する力などを評価します。

《入学までに心がけて欲しいこと》

高等学校で学習したことが基本になることはもちろんですが、「覚える」学習にとどまらず、日頃から「自ら調べ、自ら解決し理解を深めてゆく」姿勢を心がけて欲しいと思います。英語力の向上にも計画的に取り組んでください。

歯学部歯学科

【教育理念】

豊かな人間性を有し、使命感をもって全人的な歯科医療を実践し、国民の健康維持・増進に寄与するとともに、国際的視野から歯学・歯科医療の向上に貢献できる指導者を育成します。

【教育目標】

1. 幅広い教養を身につけ、歯科医師としての豊かな人間性を培う。
2. 基本的な科学の原理と概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
3. 科学的探究心をもち、自ら問題を発見し、解決する能力を身につける。
4. 全身を理解した上で、口腔領域の疾患の予防、診断、治療に関する知識と基本的技術を修得する。
5. 社会における歯学・歯科医療の役割とその重要性を理解する。

【アドミッション・ポリシー】

《求める学生像》

1. 歯学・歯科医療に誇りと興味をもち、歯科臨床あるいは基礎研究を通して、国民の健康維持・増進に貢献するという信念をもっている。
2. 高水準な歯科医学を修得できる十分な基礎学力を備えている。
3. 豊かな人間性をもち、他人に対する思いやりとコミュニケーション能力を備えている。
4. 旺盛な知的好奇心と問題解決に対する意欲をもち、行動力を備えている。
5. 幅広い視野と柔軟な感性、粘り強い探究心を有している。
6. 適切な社会性をもち、歯科界のリーダーとして指導的役割を果たせる積極性がある。

《入学試験の基本方針》

学力検査以外の評価方針を記載します。

歯学・歯科医療への関心と医療人としての適性、コミュニケーション能力、積極性、協調性を小論文、面接および提出書類から総合的に評価します。

特に、学校推薦型選抜では、小論文により、問題発見および解決に必要な批判的・創造的・協働的思考力に加えて、論理的さらには柔軟な思考力を評価し、面接および提出書類により、歯学・歯科医療に対する強い関心とこの領域で社会に貢献したいという強い意欲を高く評価します。

《入学までに心がけて欲しいこと》

高等学校で学習する全ての教科の学力を幅広く確実に身につけておいてください。このことが入学後の歯学科教育の土台となります。特に、大学受験で選択しなかった理科学科（特に生物）の基礎学力を身につけておいてください。また、将来、国際的視野をもって活躍し、最先端の生命科学を修得するには、高い英語の学力が求められるので、英語能力の向上を常に目指してください。そして、普段から、社会や医学・医療に関心をもち、幅広い知識を蓄え、自分の意見をもち、それを明確に伝えられる表現力、医療人に求められる高い倫理観と信頼される人間性を身につけるように心がけてください。将来、多様な職種の人々と連携して行動ができるよう、日頃から明確な目的意識、積極性、協調性をもつように心がけてください。

歯学部口腔保健学科

【教育理念】

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成します。

【教育目標】

〈口腔保健衛生学専攻〉

1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
2. 基本的人権を尊重し、相手の心情と行動を理解して人と接する能力を身につける。
3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
4. 心身のさまざまな状態を理解し、口腔保健に関する知識および技術を修得する。
5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
6. 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。

〈口腔保健工学専攻〉

1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
2. 深い人間理解と医療人としての高い倫理観、豊かな感性を身につける。
3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
4. QOLの向上に関わるものづくりの専門家として、自らの高度な知識と技術を社会に還元する意欲を養う。

5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
6. 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。

【アドミッション・ポリシー】

《求める学生像》

〈口腔保健衛生学専攻〉

1. コミュニケーション能力に優れ、科学的探究心を備えている。
2. 口腔や全身の健康問題に対して強い関心を持ち、人々の健康増進に貢献する意欲がある。
3. 将来大学院で学び、科学的な分析能力、マネジメント力、発信力を具備する研究者・教育者となる意欲がある。

〈口腔保健工学専攻〉

1. 口腔保健に強い関心を持ち、人々の健康増進に貢献する意欲がある。
2. 豊かな人間性と人々への思いやりがある。
3. 口腔機能の維持、再建に深い関心を持ち、ものづくりへの意欲がある。
4. 科学的探究心を持ち、継続的に自己啓発する。
5. 口腔保健工学研究におけるグローバルリーダーとなる意欲がある。

《入学試験の基本方針》

学力検査以外の評価方針を記載します。

〈口腔保健衛生学専攻〉

口腔や全身の健康問題への関心と医療人としての適性、コミュニケーション能力、積極性、協調性を小論文、面接および提出書類から総合的に評価します。

特に、学校推薦型選抜では、小論文により、問題発見および解決に必要な批判的・創造的・協働的思考力に加えて、文章を読んで理解する力、それに基づいて自分の考えを述べる力などを評価し、面接および提出書類により、口腔や全身の健康問題に対する強い関心とこの領域で社会に貢献したいという強い意欲を高く評価します。

〈口腔保健工学専攻〉

口腔や全身の健康への関心と、ものづくりの意欲、医療人としての適性、コミュニケーション能力、積極性、協調性を小論文、面接および提出書類から総合的に評価します。

特に、学校推薦型選抜では、小論文により、問題発見および解決に必要な批判的・創造的・協働的思考力に加えて、与えられた課題に対して内容を分析、要約する力と自身の考えを論理的に述べる力を評価し、面接および提出書類により、口腔保健工学専攻で学ぶ意志と科学的探究心を確認します。

《入学までに心がけて欲しいこと》

〈口腔保健衛生学専攻〉

高等学校で学習する全ての教科の学力を幅広く確実に身につけておいてください。このことが口腔保健衛生学専攻における教育の土台となります。特に、大学受験で選択しなかった理科・社会の科目の基礎学力を修得しておくことが望まれます。また、国際的視野をもって活躍し、最先端の学問を修得するには、高い英語力が求められます。さらに、社会や保健・医療・福祉に関心を持ち幅広い知識を蓄え、協調性とコミュニケーション能力、医療人に求められる高い倫理観と豊かな人間性を身につけるようにしてください。

〈口腔保健工学専攻〉

高等学校で学習する全ての教科の基礎学力を幅広く確実に身につけておいてください。このことが口腔保健工学専攻における教育の土台となります。普段から、社会、保健・医療・福祉およびものづくりに関心を持ち幅広い知識を蓄え、協調性とコミュニケーション能力、医療人に求められる高い倫理観と豊か

な人間性を身につけるように心がけてください。特に、ものづくりに重要な立体認識の力を高めるよう努めるとともに、国際的視野をもって活躍するために必要となる英語能力の向上に取り組んでください。

教養部（千葉縣市川市国府台）

【教育理念】

国際的に通用する医療人の基盤となる、さまざまな文化や多様な世界を理解できる幅広い教養と、他者を理解するための豊かな人間性と倫理観、自ら問題提起し解決する創造力を兼ね備えた人材を育成する。

【教育目標】

教育理念の実現のために、教養教育と専門教育を学ぶための基礎教育を並行して行い、以下の4つの力を学生に獲得させる。

1. 市民社会の一員として、自己と他者を理解するための幅広い教養と感性
2. 科学的に考え、理解し、自ら問題を見つけ継続して学ぶ力
3. 国際的な医療人として活躍するために必要なコミュニケーションの能力
4. 専門教育に必要な基礎学力や思考力、技術

募集要項

1. 募集人員

学部・学科・専攻		修業年限	募集人員	
医学部	医学科		6年	5名
	保健衛生学科	看護学専攻	4年	20名
		検査技術学専攻	4年	8名
歯学部	歯学科		6年	5名
	口腔保健学科	口腔保健衛生学専攻	4年	2名
		口腔保健工学専攻	4年	2名

※ 上記募集人員には、医学部医学科を除き、特別選抜 I（国際バカロレア選抜）による募集人員若干名を含む。

※ 合格者又は入学手続者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜（前期日程）の募集人員に加える。

※ 本選抜と地域特別枠推薦選抜との併願はできないので注意すること。

2. 入学年次 第1学年

3. 入学時期 2023年4月

4. 出願資格

本学に入学を志願することができる者は、次のいずれかに該当する者で、推薦要件を全て満たし、志願者が在籍する高等学校等の学校長が、責任を持って推薦できる者とする。

- (1) 2023年3月に高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2022年4月1日から2023年3月31日までに修了した者又は修了見込みの者

5. 推薦人員及び推薦要件等

(1) 推薦人員及び推薦要件

高等学校等の学校長が推薦できる人員及びその要件は、次のとおりとする。

なお、1校から複数の学科・専攻へ推薦できるものとするが、同一の者を重複推薦することはできないものとする。

また、本選抜により合格した場合、必ず入学することを確約できる者とする。

【医学部医学科】

《推薦人員》

1 校につき 2 名以内とする。

《推薦要件》

- ・医学・医療に深い関心をもち、高い基礎学力と倫理観を備えていること
- ・協調性とコミュニケーション能力に優れ、患者の思いを慮ることができるバランスのとれた人格を備えていること
- ・創造性とチャレンジ精神に富み、自然科学領域におけるきわめて優れた特性・学科能力または国内外の課外活動などにおける特筆すべきリーダーシップ能力を備えていること
- ・調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）4.7 以上、あるいはきわめて優れた特性・学科能力又は特筆すべき課外活動の経験を有すること

【医学部保健衛生学科看護学専攻】

《推薦人員》

1 校につき 1 名を原則とし、過去 5 年間「学校推薦型選抜（推薦入試）」及び「一般選抜（一般入試）」の保健衛生学科看護学専攻への入学実績校については、2 名まで可とする。
なお、該当する高等学校等には別途通知する。

《推薦要件》

- ・保健医療および看護学に深い関心をもち、他者への思いやり、責任感、倫理観を備えていること
- ・観察力、科学的思考力、問題解決力、総合判断力を備えていること
- ・人間性が豊かで、継続的に自己啓発し、探究心が旺盛であること
- ・コミュニケーション能力が優れ、リーダーシップを発揮して課題に取り組むことが期待できること
- ・外国語によるコミュニケーション能力が優れ、多様な文化への理解と関心を有していること
- ・調査書の学習成績概評が A に属する者

【医学部保健衛生学科検査技術学専攻】

《推薦人員》

1 校につき 1 名とする。

《推薦要件》

- ・保健医療および検査技術学への強い関心があり、他者への思いやり、責任感、倫理観を備えていること
- ・高い基礎学力と豊かな国際感覚を持ち、探究心が旺盛で、継続的に自己啓発し、リーダーシップを発揮して課題に取り組むことが期待できること
- ・推薦にふさわしい優れた能力や活動体験があること
- ・調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が 4.0 以上の者

【歯学部歯学科】

《推薦人員》

1 校につき 2 名以内とする。

《推薦要件》

- ・高い基礎学力とバランスの取れた優れた人格を持ち、歯学への強い関心があること
- ・高い語学力（英語力）およびそれに伴う豊かな国際感覚を持っていること
- ・推薦にふさわしい優れた能力や活動体験があること

【歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻】

《推薦人員》

1 校につき 2 名以内とする。

《推薦要件》

- ・高い基礎学力とバランスの取れた優れた人格を持ち、口腔保健衛生学への強い関心があること
- ・高い語学力（英語力）およびそれに伴う豊かな国際感覚を持っていること
- ・推薦にふさわしい優れた能力や活動体験があること

【歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻】

《推薦人員》

1 校につき 2 名以内とする。

《推薦要件》

- ・高い基礎学力とバランスの取れた優れた人格を持ち、口腔保健工学への強い関心があること
- ・高い語学力（英語力）およびそれに伴う豊かな国際感覚を持っていること
- ・推薦にふさわしい優れた能力や活動体験があること
- ・ものづくりへの高い関心と意欲を持っていること

(2) 留意事項

- ア 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含む）への出願は、一つの大学・学部に限る。
- イ 本学の学校推薦型選抜の結果、不合格となった者は、本学及び他の国公立大学が実施する他の一般選抜等を受験することができる。
- ウ 学校推薦型選抜の合格者は、学校推薦型選抜を実施した大学が特別の事情があるとして入学の辞退を許可した場合を除き、他の国公立大学が実施する一般選抜等を受験しても合格者とはならない。

6. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、志願者が提出した出願書類の評価、小論文試験、面接試験の成績を総合して判定

する。(医学部医学科及び歯学部歯学科については大学入学共通テストを課す。)

なお、特別選抜Ⅰ(国際バカロレア選抜)と合わせて(医学部医学科は特別選抜Ⅰ(学校推薦型選抜)のみの)志願者数が募集人員を大幅に上回る場合(募集人員の約4倍)には、出願書類により第1段階選抜を実施する。(医学部保健衛生学科看護学専攻及び検査技術学専攻は第1段階選抜を実施しない。)

【医学部医学科】

① 出願書類の評価

② 小論文試験

大問1と大問2を出題する。

大問1は、全学科・専攻で共通とし、問題発見および解決に必要な批判的・創造的・協働的思考力を問う。

大問2は、生命科学などに関する課題及びこれに関連する複数の資料を提示し、重要性・優先順位に応じて情報を整理・統合する力、資料を基に課題の全体像を要約して問題点を抽出する力、図・文章を用いて根拠を示しながら自身の考え・解決策を論理的に述べる力を問う。

③ グループ面接と個人面接

課題を与え、グループ面接を行った後、提出書類とグループ面接の内容により個人面接を行う。

④ 令和5年度大学入学共通テスト

医学部医学科を志願する者は、令和5年度大学入学共通テストにおいて、以下に記載する「本学が指定する教科・科目」を全て受験しなければならない。1科目でも受験していない場合は、合格の対象とならない。

なお、合格と判断する際の目安の得点は、「本学が指定する教科・科目」の得点の総合計が原則8割以上とする。

「本学が指定する教科・科目」

教科	科目名等
国語	『国語』
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」『倫理, 政治・経済』から1科目選択
数学	『数学Ⅰ・数学A』
	『数学Ⅱ・数学B』
理科	「物理」「化学」「生物」から2科目選択
外国語	『英語(リーディング及びリスニング)』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目選択

注1. 本学が指定する科目以外の科目を受験した場合、本学における受験資格がないものとする。

また、第1解答科目が指定した科目以外の場合も、本学における受験資格がないものとする。

注2. 「外国語」の『英語』については、リーディング(100点満点)を150点満点に、リスニング

(100点満点)を50点満点に換算し、合計得点200点満点として活用する。なお、大学入学共通テストの『英語』のリスニングテストが免除となる重度難聴者については、『英語』のリーディングの成績(100点満点)を200点満点に換算し活用する。

注 3. 大学入学共通テストの「地理歴史・公民」の科目において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に用いる。

【医学部保健衛生学科看護学専攻】

① 出願書類の評価

② 小論文試験

大問1と大問2を出題する。

大問1は、全学科・専攻で共通とし、問題発見および解決に必要な批判的・創造的・協働的思考力を問う。

大問2は、科学論文、エッセイなどの資料を提示して、理解し整理・統合する力、著者の論意を踏まえて、自身の考えを論理的かつ簡潔に述べる力を問う。

③ グループ面接と個人面接

課題を与え、グループ面接を行った後、提出書類とグループ面接の内容により個人面接を行う。

【医学部保健衛生学科検査技術学専攻】

① 出願書類の評価

② 小論文試験

大問1と大問2を出題する。

大問1は、全学科・専攻で共通とし、問題発見および解決に必要な批判的・創造的・協働的思考力を問う。

大問2は、科学的な題材に関する文章を読み、理解する力、自分なりの推論を理論的に展開する力を問う。

③ グループ面接と個人面接

課題を与え、グループ面接を行った後、提出書類とグループ面接の内容により個人面接を行う。

【歯学部歯学科】

① 出願書類の評価

② 小論文試験

大問1と大問2を出題する。

大問1は、全学科・専攻で共通とし、問題発見および解決に必要な批判的・創造的・協働的思考力を問う。

大問2は、「i. 論理的な思考を問う科学問題」、「ii. 医歯学領域への関心を問う問題(英語で出題する。）」、「iii. 柔軟な思考を問うエッセイ形式問題」から、2～3題を課す。

③ グループ面接と個人面接

課題を与え、グループ面接を行った後、提出書類とグループ面接の内容により個人面接を行う。

④ 令和5年度大学入学共通テスト

歯学部歯学科を志願する者は、令和5年度大学入学共通テストにおいて、以下に記載する「本学が指定する教科・科目」を全て受験しなければならない。1科目でも受験していない場合は、合格の対象とならない。

なお、合格と判断する際の目安の得点は、「本学が指定する教科・科目」の得点の総合計が原則7割以上とする。

「本学が指定する教科・科目」

教科	科目名等
国語	『国語』
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」『倫理, 政治・経済』から1科目選択
数学	『数学Ⅰ・数学A』
	『数学Ⅱ・数学B』
理科	「物理」「化学」「生物」から2科目選択
外国語	『英語（リーディング及びリスニング）』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目選択

注 1. 本学が指定する科目以外の科目を受験した場合、本学における受験資格がないものとする。

また、第1解答科目が指定した科目以外の場合も、本学における受験資格がないものとする。

注 2. 「外国語」の『英語』については、リーディング（100点満点）を150点満点に、リスニング（100点満点）を50点満点に換算し、合計得点200点満点として活用する。なお、大学入学共通テストの『英語』のリスニングテストが免除となる重度難聴者については、『英語』のリーディングの成績（100点満点）を200点満点に換算し活用する。

注 3. 大学入学共通テストの「地理歴史・公民」の科目において、2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に用いる。

【歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻】

① 出願書類の評価

② 小論文試験

大問1と大問2を出題する。

大問1は、全学科・専攻で共通とし、問題発見および解決に必要な批判的・創造的・協働的思考力を問う。

大問2は、英語の長文を読み、設問に英語及び日本語で答える形式で、出題の文章内容を踏まえて、自身の考えを日本語で述べる力を問う。

③ グループ面接と個人面接

課題を与え、グループ面接を行った後、提出書類とグループ面接の内容により個人面接を行う。

【歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻】

① 出願書類の評価

② 小論文試験

大問1と大問2を出題する。

大問1は、全学科・専攻で共通とし、問題発見および解決に必要な批判的・創造的・協働的思考力を問う。

大問2は、英語の問題文を読み、与えられた課題に対して内容を要約する力と自身の考えを述べる力を問う。

③ グループ面接と個人面接

課題を与え、グループ面接を行った後、提出書類とグループ面接の内容により個人面接を行う。

7. 出願期間及び出願方法

出願は、「Web 出願サイト」により行うこととし、次に掲げるとおりとする。

(1) 出願期間（「Web 出願サイト」登録期間）

2022年11月1日（火）10時～11月7日（月）15時まで

※2022年10月25日（火）10時サイトオープン

(2) 出願方法等

① <https://www.tmd.ac.jp/admissions/faculty2/system/special1/> にアクセスして、「Web 出願サイト」の「インターネット出願利用手順」を参照し、出願手順の確認を行うこと。

② <https://www.tmd.ac.jp/admissions/faculty2/system/special1/> にアクセスして、「Web 出願サイト」に登録し、入学志願票の作成・印刷を行うこと。

③ 出願書類（入学志願票等）を書留速達郵便で提出すること。書類提出期間は以下のとおりとする。なお、大学に直接持参しても一切受理しない。

2022年11月1日（火）～11月7日（月）17時必着

④ 書類提出期間後に到着した書類等は、いかなる理由（天災によるものを除く。）があっても受理しない。また、書類等に不備がある場合は、受理しないことがある。

⑤ 一度受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しない。

(3) 出願書類提出先

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

東京医科歯科大学統合教育機構入試課学部入試係

(4) 出願受理の確認及び受験票の出力

① 「Web 出願サイト」において、出願書類等が受理されたことを確認すること。

② 「Web 出願サイト」において、受験番号が付番された「受験票」を出力すること。

注 1. 11 月 11 日（金）以降，受験票の出力ができる準備ができた段階で，本学より「Web 出願サイト」に登録した，メールアドレスに連絡する。

注 2. 小論文試験及び面接試験を受験する際には，「本学の受験票」を必ず持参すること。

注 3. 「本学の受験票」は，合格後の入学手続き時に必要となるので大切に保管すること。

注 4. 本学より「Web 出願サイト」に関する緊急の連絡がある場合は，本学ホームページ上に掲載する。

注 5. ただし，第 1 段階選抜の結果，不合格となった者については，「受験票」は無効となる。

(5) 出願書類等

出 願 書 類 等		摘 要
1	入学志願票	「Web 出願サイト」から出力した用紙を提出すること。
2	志望理由書	<p>「Web 出願サイト」において，以下のとおり入力すること。</p> <p>【医学科志願者】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東京医科歯科大学において学びたい理由，高等学校等在学中の自己の活動の成果及び卒業後の自己の将来像等について（2,000 字以内）※英語での記載も可。英語で記載する場合は 600 words 以内とすること。 2. 国際感覚に優れていることを示す具体的な活動及び経験等について（2,000 字以内）※英語での記載も可。英語で記載する場合は 600 words 以内とすること。 <p>【歯学科志願者】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東京医科歯科大学において学びたい理由，高等学校等在学中の自己の活動の成果及び卒業後の自己の将来像等について（2,000 字以内）※英語での記載は不可。 2. 国際感覚に優れていることを示す具体的な活動及び経験等について（2,000 字以内）※英語での記載は不可。 <p>【保健衛生学科及び口腔保健学科志願者】</p> <p>東京医科歯科大学において学びたい理由，高等学校等在学中の自己の活動の成果（国際感覚に優れていることを示す具体的な活動及び経験等）及び卒業後の自己の将来像等について（3,000 字以内）※英語での記載は不可</p>

3	推薦書（要厳封）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本学所定の様式を，本学ホームページ上 (https://www.tmd.ac.jp/admissions/faculty2/system/special1/) からダウンロードすること。<u>その際，学科・専攻毎に様式が異なるので注意すること。</u> 2. 様式は変更しないこと。 3. 当該高等学校等の教員が黒又は青のボールペンで自筆により記入するか，PDF ファイルに直接入力すること。 4. 必ず A4 片面で印刷し，ゼムクリップでまとめて提出すること。（ホチキスでとめないこと。）
4	学習状況調査票（要厳封）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本学所定の様式を，本学ホームページ上 (https://www.tmd.ac.jp/admissions/faculty2/system/special1/) からダウンロードすること。<u>その際，学科・専攻毎に様式が異なるので注意すること。</u> 2. 様式は変更しないこと。 3. 当該高等学校等の教員が黒又は青のボールペンで自筆により記入するか，PDF ファイルに直接入力すること。 4. 必ず A4 片面で印刷し，ゼムクリップでまとめて提出すること。（ホチキスでとめないこと。） 5. 「学習状況調査票」の「3. 本人活動に関する成果の記録」を証明する添付書類がある場合には，以下のとおり提出すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・原本を A4 片面カラーでコピーし，高等学校等が原本と相違ないことを証明（以下の記載例を参考に，余白に記載の上，押印）すること。 <div data-bbox="703 1263 1331 1572" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><記載例></p> <p>この写しは原本と相違ないことを証明します。</p> <p style="text-align: center;">〇〇〇〇年〇月〇日</p> <p style="text-align: center;">〇〇〇〇高等学校</p> <p style="text-align: center;">（役職名等） 〇〇 〇〇 印</p> </div> <p>・対応した資料番号を当該書類（複数枚ある場合は全てに）の右上に付し，ゼムクリップでまとめて提出すること。（ホチキスでとめないこと。）</p> <p>なお，やむを得ない場合は原本の提出も可とする。（原本は，第1段階選抜を実施する学科については，第1段階選抜結果通知時に，実施しない学科については，面接時刻表を送付する際に同封して返却する。）</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響により機会を喪失した場合は，成果獲得への努力のプロセス等を記載のこと。</p>

5	調査書（要厳封）	文部科学省が定めた様式により、当該学校長が作成したものを提出すること。
6	入学検定料・郵送料	19,160 円 入学検定料 17,000 円＋郵送料 2,160 円（720 円×3）（郵送料は本学より結果通知等を送付する際に使用する。また、支払時に、「Web 出願サイト」手数料が別途発生する。なお、「Web 出願サイト」手数料は入学検定料の支払い毎に発生する。）

注 1. 各書類において求める志願者の学習成果等については、原則として、高等学校等在学中のものとする。

注 2. 出願手続完了後の提出書類の返却及び内容変更は認めない。

注 3. 出願手続が完了した者の検定料は、いかなる理由があっても返還しない。

ただし、第 1 段階選抜不合格者に対しては、出願の際に徴収した検定料 17,000 円のうち、13,000 円及び郵送料 1,440 円（720 円×2）を返還する。なお、該当者には、第 1 段階選抜結果通知時に返還手続案内を同封する。

8. 障害のある志願者の事前相談（受験上の配慮）

本学に入学を志願する者で、障害（学校教育法施行令第 22 条の 3 に準拠）があり、受験上又は修学上配慮を必要とする者は、出願に先立ち、本学と事前相談を行うことが必要となるので、健康診断書等関係書類を添えて申し出ること。必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等により相談を行い、その相談結果により、障害の種類・程度に応じた配慮事項を決定する。

なお、体幹及び両上下肢等に障害があり、代筆解答を必要とする者は、出願期間前のできる限り早い時期に申し出ること。

注 1. 日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を持参して受験する場合も、受験上の配慮の申し出が必要となる。

注 2. 申し出及び事前相談の期限後に不慮の事故等（交通事故、部活動中の事故、発病等）のため受験上の配慮を希望する者は、「受験票」及び「医師の診断書」を持参し申し出ること。なお、申し出が試験の直前である等、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する受験上の配慮が行えないこともあるので、注意すること。

《申し出及び事前相談の期限》 2022 年 10 月 14 日（金）まで

《連絡先》 〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

東京医科歯科大学統合教育機構入試課学部入試係

Mail:nyu-gakubu-02.adm@tmd.ac.jp

FAX:03-5803-0106

9. 試験の日程及び会場

(1) 日程

小論文試験 2022年11月28日(月)詳細は後日通知する。

面接試験 2022年11月29日(火)詳細は後日通知する。

※ 医学部保健衛生学科看護学専攻及び検査技術学専攻については志願者多数の場合、2022年11月30日(水)に面接試験を行う場合がある。

※ 医学部医学科、歯学部歯学科については令和5年度大学入学共通テストを課す。

(2) 会場 (24 ページ「東京医科歯科大学位置図」参照)

東京医科歯科大学 (湯島地区) 東京都文京区湯島 1-5-45

10. 受験者心得

- (1) 携帯電話, スマートフォン, ウェアラブル端末, 電子辞書, ICレコーダー等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し, 電源を切っておくこと。試験時間中に, これらを身に付けていたり, 手に持っている場合は, 不正行為となるので, 注意すること。不正行為を行った場合は, その場で受験の中止と退室を命じられ, それ以後の受験はできなくなる。また, 受験した全ての試験の成績を無効とする。
- (2) 試験当日は, 掲示等により各自の試験室を確認し, 指定された時間までに入室すること。
- (3) 試験当日, やむを得ない事情により遅刻した場合は, 試験開始後 30 分まで受験を認める。ただし, 試験時間の延長は認めない。
- (4) 試験前日に, 試験室の下見等のために本学の構内に入ることは禁止する。また, 試験当日は, 保護者等の付き添い者は本学の構内に入ることはできない。
- (5) 小論文試験及び面接試験を受けない者は, 不合格となるので注意すること。
- (6) 提出された出願書類の記載内容が著しく事実と相違する場合は, 入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- (7) 小論文試験日程及び会場の詳細 (集合時間, 集合場所等) については, 後日通知する。また, 面接試験日程及び会場の詳細 (集合時間, 集合場所等) については, 第1段階選抜を実施する学科については, 第1段階選抜結果通知時に合格者にのみ通知する。なお, 実施しない学科については 11月14日(月)以降に通知する。
- (8) 試験当日, 入構時に受験票を確認するので, 必ず受験票を持参すること。
- (9) 試験場へは, 公共交通機関を利用すること。自動車や二輪車での来場は固くお断りしている。

11. 合格発表

(1) 第1段階選抜合格発表

2022年11月14日(月)13時

※ 医学部保健衛生学科看護学専攻及び検査技術学専攻については第1段階選抜を実施しない。

- ① 受験者全員に選抜結果を通知する。(医学部保健衛生学科を除く。)

※ 合格者 (医学部保健衛生学科の出願者は全員) に受験案内を同封して送付するので,

11月17日(木)までに届かない場合は、メールにて問い合わせること。

- ② 合否照会システム (<https://www.gouhi.com/tmdu/>) にて発表する。ただし、合否照会システムでの発表は参考として閲覧の上、必ず上記の結果通知により確認すること。
- ③ 電話による「合格発表」に関する問い合わせには一切応じない。

(2) 最終合格発表

2022年12月9日(金) 13時

※ 医学部医学科、歯学部歯学科については条件付合格として発表し、大学入学共通テストの成績を確認後、2023年2月8日(水)以降に最終結果通知を送付する。2月13日(月)までに届かない場合は、入試課学部入試係へ問い合わせること。

なお、条件付合格通知に同封する「大学入学共通テスト成績請求票(国公立推薦選抜用)貼付台紙」には、12月中旬頃に大学入試センターから送付される「大学入学共通テスト成績請求票(国公立推薦選抜用)」を貼付し、書留速達にて、指定の期限までに入試課学部入試係に提出すること。この期限までに本学が受領できない場合は、合格取消となる。また、大学入学共通テストの成績により合格取消となる場合があるので注意すること。

- ① 受験者全員及び学校長あてに選抜結果を通知する。
※ 12月15日(木)までに届かない場合は、入試課学部入試係へ問い合わせること。
- ② 合格者へは入学手続に必要な書類等を同封し送付する。ただし、医学部医学科、歯学部歯学科の合格者については、最終結果通知に入学手続に必要な書類等を同封し送付する。
- ③ 合否照会システム (<https://www.gouhi.com/tmdu/>) にて発表する。ただし、合否照会システムでの発表は参考として閲覧の上、必ず上記の結果通知により確認すること。
- ④ 電話による「合格発表」に関する問い合わせには一切応じない。

12. 入学手続

(1) 入学手続期間

2022年12月12日(月)～12月16日(金) 17時必着

※ 書留速達郵便にて、12月16日(金)17時までに必着のこと。

※ 医学部医学科、歯学部歯学科合格者の入学手続期間は、

2023年2月8日(水)～2月15日(水) 17時必着
とする。

※ 医学部医学科、歯学部歯学科合格者の場合は、書留速達郵便にて、2月15日(水)17時までに必着のこと。

(2) 送付先

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

東京医科歯科大学統合教育機構入試課学部入試係

(3) 入学手続に必要なもの

- ① 入学料 282,000円(2022年度実績)

注 1. 別紙「入学料納付証明書貼付台紙」に入学料(282,000円)を振り込んだことがわか

るもの（例：銀行窓口での振込依頼書，ATM ご利用明細票，インターネットバンキング振込完了ページを印刷したもの等）を貼付すること。

入学料振込先：三菱 UFJ 銀行 本店

普通預金 7897102

国立大学法人 東京医科歯科大学

※ 振込人氏名の前に必ず「受験番号（7桁）」を入力し振り込むこと。

注 2. 振込手数料は，振込人負担となる。

注 3. 「入学料免除」又は「入学料徴収猶予」制度を利用する者（利用を考えている者）は，入学手続き時に入学料を納入した場合，本制度を利用できなくなるので，事前に学生支援・保健管理機構学生支援事務室学生支援総括係へ問い合わせること。（「入学料及び授業料の免除並びに徴収猶予について」（22 ページ参照）

② 本学の受験票（試験時に持参したもの）

③ 令和 5 年度大学共通テスト受験票（医学部医学科，歯学部歯学科合格者のみ提出，コピー不可）

④ 受験票返送用封筒（入学手続後）

注 1. 長形 3 号の封筒に，合格者の住所・氏名・郵便番号を明記の上，郵便切手（674 円）を貼付し，3 つ折りにすること。

(4) 授業料（2022 年度実績）

前期分 321,480 円 後期分 321,480 円 年額 642,960 円

注 1. 授業料は，合格通知に同封する「預金口座振替依頼書」により，所定の手続を行い，入学後に指定された預金口座から自動引き落としとなる。

(5) その他

① 所定の入学手続期間に入学手続を行わない場合，入学を辞退したものとして取り扱う。

② 納付済みの入学料は，いかなる理由があっても返還しない。

③ 入学料・授業料について，改定が行われた場合は，改定時から新料金が適用される。

④ 入学料・授業料の納付に関する問い合わせ先

財務部財務企画課資金管理係（TEL:03-5803-5048）

⑤ 入学後，入学料・授業料の他に別途，諸経費が必要になる。（入学関係書類とともに 3 月中旬頃に案内を送付する。）

13. 合格者に関する留意事項

(1) 学校推薦型選抜の合格者は，他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験しても入学許可は得られない。

(2) 学校推薦型選抜の合格者が，特別の事情が生じ入学を辞退する場合には，当該合格者の推薦を行った学校長名による「学校推薦型選抜辞退願」（様式自由）に理由を付し，2023 年 2 月 20 日（月）17 時までに，本学学長あてに提出し，その許可を得なければならない。入学辞退の許可が得られた場合は，本学及び他の国公立大学が実施する一般選抜等を受験することができる。

- (3) 本学では、学校推薦型選抜の合格者の入学辞退については、原則、認めていない。
- (4) 合格者が入学又は入学辞退のいずれかの手続も行わないままとすることのないよう注意すること。
- (5) 入学手続完了者で、推薦を受けた学校を卒業又は修了できない場合は、入学を取り消すこととなる。

14. 不合格となった場合の取扱い

- (1) 学校推薦型選抜の結果、不合格となった者は、本学及び他の国公立大学が実施する一般選抜等を受験することができる。ただし、大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等は、当該大学の指示するところによる。
- (2) 本学の一般選抜を受験しようとする場合は、改めて出願しなければならない。詳細は 2022 年 11 月下旬に発表予定の「令和 5 (2023) 年度一般選抜学生募集要項」を参照すること。

15. 個人情報の取扱い

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人東京医科歯科大学個人情報管理規則」に基づき、次のとおり取り扱う。

- (1) 個人情報の利用
 - ① 出願書類に記載された個人情報については、入学者選抜業務（出願登録処理、選抜実施、合格発表、入学手続）を行うために利用する。
 - ② 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を、今後の入学者選抜及び大学教育の改善のための調査研究や学術研究の資料として利用する場合がある。（調査研究の発表に際しては、個人が特定できない形で行う。）
 - ③ 入学者の個人情報については、教務関係（学籍管理、就学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、授業料徴収及び研究教育振興関係に関する業務を行うために利用する。
 - ④ 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、推薦選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報（氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号）を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付する。
- (2) 個人情報に関する業務の委託

上記 (1) の各種業務での利用に当たっては、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者委託することがある。

16. 問い合わせ先

照会は、e-mail 又は FAX により行うこと。（氏名、返信用のメールアドレス 又は返信用 FAX 番号を記入すること。）

《照会先》 〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

東京医科歯科大学統合教育機構入試課学部入試係

Mail:nyu-gakubu-02.adm@tmd.ac.jp

FAX:03-5803-0106

入学料及び授業料の免除並びに徴収猶予について

(注) 問い合わせ先：学生支援・保健管理機構学生支援事務室学生支援総括係

(kousei.adm@ml.tmd.ac.jp)

詳細は本学ホームページ「入学料・授業料免除・徴収猶予について」を参照すること。

<https://www.tmd.ac.jp/campuslife/exemption/index.html>

(1) 入学料〔入学料：282,000円〕

○免除

経済的に困難な学生の入学料を免除する制度である。(詳しくは「本学HP→学生生活→入学料・授業料免除・徴収猶予について」を適宜確認すること。)

※免除書類提出後は、決定通知があるまで納付しないこと。

○徴収猶予

入学手続き期間内に入学料の納付が困難で、学業が優秀と認められる者に対して許可される。

※猶予書類提出後は、決定通知があるまで納付しないこと。

◆申請方法

- ① 入学手続き期間内に『「入学料徴収猶予申請書 - 「様式 2」または「様式 2-2」』のみを学生支援事務室へ提出。

日本学生支援機構給付型奨学金予約採用候補者及び本学進学後日本学生支援機構給付型奨学金申込予定の方は入学料を支払わず上記手続きを行ってください。

- ② 他申請書類一式を所定の期間(4月頃)に提出する。

(提出期間は絶対厳守。提出期間を過ぎた場合は一切受けけない。)

※免除制度・徴収猶予制度共に、全額免除を許可された者または徴収猶予を認められた者を除くすべての者は、告示後14日以内に入学料を納付しない場合、除籍処分となりますので、注意すること。

※修学支援新制度の対象者は区分に応じて入学料・授業料が免除される。修学支援新制度の予約採用者及び4月に申請予定者は入学料を入学手続き期間中に納付せずに「入学料徴収猶予申請書「様式2」または「様式2-2」」を提出すること。

※修学支援新制度の予約採用者(奨学生採用候補者)は以下のホームページの[>奨学生の募集について>①予約採用]の項目を確認のうえ、速やかに「採用候補者決定通知」の写し(写真)を学生支援事務室学生支援総括係[kousei.adm@ml.tmd.ac.jp]にメールに添付して提出してください。学生支援総括係がこのメールを受領した後、今後必要な手続きについてメールで連絡します。

<https://www.tmd.ac.jp/campuslife/scholarship/JASSO/JASSO.html>

日本学生支援機構(JASSO)給付奨学金の採用候補者並びに、入学後にJASSO給付奨学金に申請を予定している者は、入学料を誤って振り込まないでください。

(2) 授業料 [授業料 (半期分) : 321,480 円]

○免除

経済的に困難な学生の授業料を免除する制度である。(詳しくは本学 HP→学生生活→入学科・授業料免除・徴収猶予について を適宜確認すること。)

○徴収猶予

授業料の納付が困難で、学業が優秀と認められる者に対して許可される。

※猶予書類提出後は、決定通知があるまで納付しないこと。

※免除書類提出後は、決定通知があるまで納付しないこと。

(提出期間 (4 月頃) は絶対厳守。提出期間を過ぎた場合は一切受付けない。)

東京医科歯科大学生活協同組合の資料請求

東京医科歯科大学生活協同組合は、学生、院生、教職員一人ひとりが出し合った出資金で運営され、組合員の学生生活をサポートするため組合員の声をもとに書籍、購買、プレイガイド、食堂、共済・保険、住まい探し紹介などの事業を行っています。

以下のホームページ及びQRコードから東京医科歯科大学生活協同組合への資料を請求できます。

東京医科歯科大学生協 受験生・新入生応援サイト

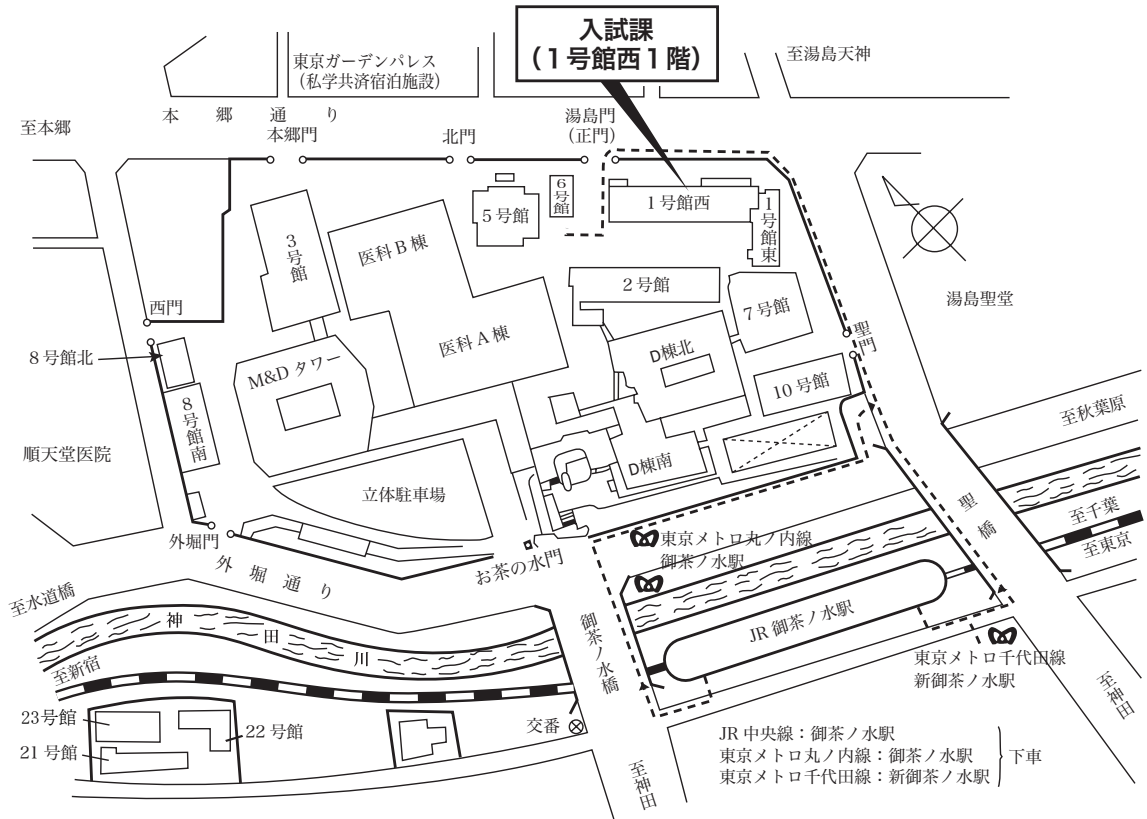
(<https://www.univcoop.jp/tmd/start/>)

QRコード



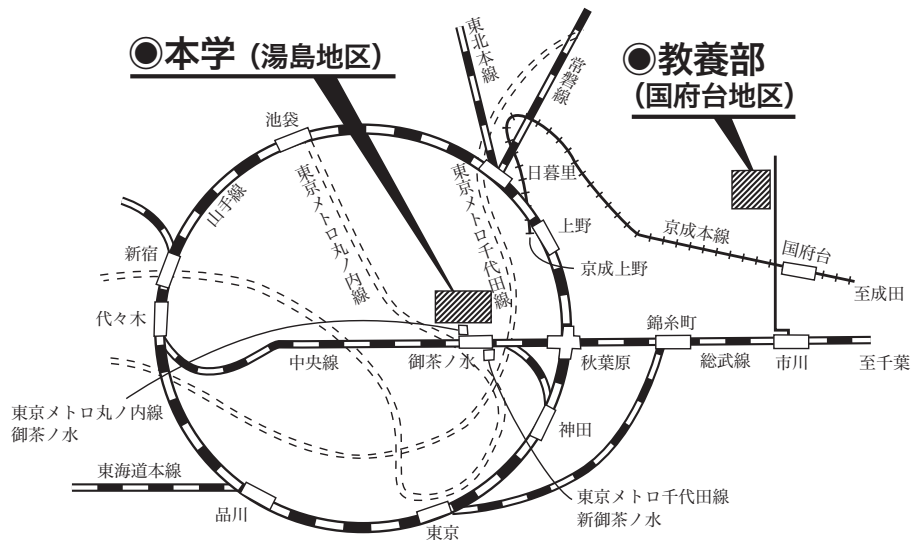
東京医科歯科大学位置図

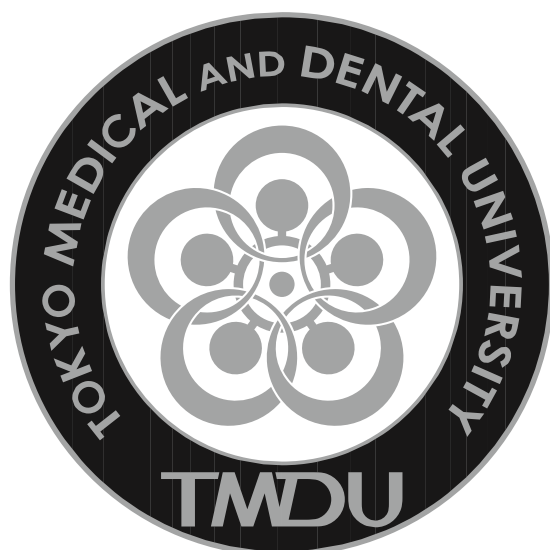
●本学 (湯島地区)



●本学 (湯島地区)

●教養部 (国府台地区)





国立大学法人

東京医科歯科大学

所在地 〒 113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

URL <https://www.tmd.ac.jp/>